

モーツァルトの交響曲、全52曲を10年かけて演奏する壮大なプロジェクト

MOZART SYMPHONY ZYKLUS

MATSUMOTO MOZART ORCHESTRA



モーツァルト交響曲・全曲

～LECTURE & CONCERT～

◆ 2014年5月5日(月・祝) 開演14:00 [開場13:30]

特別企画

朝日新聞・天声人語にも紹介された

ピアニスト・久元祐子氏によるレクチャー・コンサート

「モーツァルト〈短調〉の世界」

モーツァルトの数少ない短調作品にこめられた想いや意図、またその魅力はどこから来るのか？
楽しい語りとおけストラとの共演でモーツァルトの〈短調〉の世界をアプローチします。

指揮 ■ 横島勝人 管弦楽 ■ 松本モーツァルト・オーケストラ 会場 ■ ザ・ハーモニーホール・小ホール

◆ 2014年5月6日(火・振替) 開演14:00 [開場13:30]

第14回・モーツァルト交響曲・全曲演奏会

◆ PROGRAM ◆

♪ 交響曲 ニ長調 KV95 (73n)

♪ 交響曲 ニ長調 KV111/120 (111a)

♪ ピアノ協奏曲 第20番 ニ短調 KV466



指 揮 横 島 勝 人

ピアノ独奏 久 元 祐 子

管弦楽 松本モーツァルト・オーケストラ



会場 ■ ザ・ハーモニーホール・小ホール (松本市音楽文化ホール)

入場料

久元祐子レクチャー・コンサート ■ 2,000円 全曲演奏会 ■ 2,000円
通し券(5月5日・レクチャー&6日・全曲演奏会) ■ 3,000円(全席自由)

主催/モーツァルト交響曲・全曲演奏会 実行委員会

特別協賛/(株)市民タイムス

後援/松本市・松本市教育委員会・塩尻市・塩尻市教育委員会・安曇野市・安曇野市教育委員会・信濃毎日新聞社・SBC信越放送
NHK長野放送局・長野エフエム放送・あづみ野エフエム放送・(公財)八十二文化財団

チケット取扱い/井上プレイガイド、カタクラモールプレイガイド、クレモナ、(株)ミュージックプラザ・オグチ、平安堂あづみ野店

*お問い合わせ:090-2531-6081(牛山正博)

第14回 モーツァルト交響曲・全曲演奏会

PROFILE
プロフィール



Photo: Masashige Ogata

芸術監督：横島 勝人 Katsuto Yokoshima

大阪生まれ。9歳よりピアノを始める。大阪音楽大学在学中より指揮活動を開始、同大学卒業後も1990年まで高槻市音楽団の常任指揮者を務める。1990年ウィーン留学、その後ウィーン国立音楽大学指揮科に入学。同大学教授、レオポルド・ハーガー、ペーター・シュヴァルツ、同大学助教授、湯浅勇治の各氏に師事。

1990年ウィーンマイスタークラス指揮セミナー、1996年ハンガリー国立セゲド交響楽団主催指揮セミナーにて、クリウス・カルマー、エルヴィン・アツェル各氏に師事。ディプロマを取得、演奏会指揮者にも選ばれる。1998年にはオランダで行われたキリル・コンドラシン国際指揮者コンクールにてベスト8に選ばれ、1999年には、ウィーン楽友協会ホールでのトーン・キンストラ交響楽団との演奏会においてベートーヴェン交響曲第9番を指揮、大成功をおさめウィーンデビューを飾る。

2001年、ウィーン郊外アイゼンシュタットのエステル・ハーザー城内ハイドンザールにて、ハイドンのオラトリオ“天地創造”を指揮する。2003年にはプラハの春音楽祭のメイン会場であるスメタナホールにて、プラハ放送交響楽団を指揮、好評を博し、地元の音楽関係者からも絶賛される。

2000年より小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトI、II、III、においてアシスタント及び合唱指揮を務める。

2005年7月、ドイツライプツィヒでのチャリティ・コンサートに出演。ニコライ教会でバッハ「短調ミサ」を、ゲヴァントハウスでベートーヴェン「第九」を指揮。2006年9月、10月にはウィーンとプラハでモーツァルト生誕250年「レクイエム・ガラ」特別演奏会を指揮、絶賛を博した。

2008年3月、長野県松本市においてモーツァルトの交響曲全52曲を10年かけて演奏する「モーツァルト交響曲・全曲演奏会」が結成され芸術監督に就任。これまで13回の演奏会を開催、松本モーツァルト・オーケストラを指揮し好評を博している。



ピアノ独奏：久元 祐子 Yuko Hisamoto

東京芸術大学音楽学部(ピアノ専攻)を経て同大学大学院修士課程を修了。ラトヴィア国立交響楽団、読売日本交響楽団など内外のオーケストラと共演。ベルリン弦楽四重奏団との共演など室内楽の演奏会にも多数出演。

音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは朝日新聞・天声人語にも紹介される。ショパン時代、リスト時代、創設当時のベーゼンドルファーなど歴史的楽器を所蔵。それらを使つての演奏を通じて、時代の中で作曲家

が求めた響きと美学を追い求めている。ショパン生誕200年記念年には、全国各地でプレイエルによる演奏会を行い、大賀ホールにおいて天皇后陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。2011年ウィーンでのリサイタルは絶賛され、オーストリアのピアノ専門誌の表紙を飾り、ベーゼンドルファーアーティストの称号を受ける。

2012年イタリア国際モーツァルト音楽祭に招かれリサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され好評を博す。「青春のモーツァルト」ほか10枚のCDをリリース。CD「ハイドンとモーツァルト」は毎日新聞CD選1位。著書に「モーツァルトとヴァルターピアノ」(学研)、「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)ほか多数。

毎日21世紀賞特選受賞。国立音楽大学准教授。久元祐子ウェブサイト <http://www.yuko-hisamoto.jp/>

管弦楽：松本モーツァルト・オーケストラ Matsumoto Mozart Orchestra

2007年12月、モーツァルト交響曲・全52曲を10年かけて演奏するという壮大な計画がもちあがり、そのための管弦楽団として松本室内合奏団、松本交響楽団のメンバーをはじめ音楽を愛する意欲ある演奏家たちで結成される。コンサートマスターは「うしやまヴァイオリンスクール」主宰の牛山正博氏が務める。

横島勝人氏の指揮のもと、2008年3月2日の第1回の演奏会をかわきりに年2回から3回のペースで開催される「モーツァルト交響曲・全曲演奏会」は、回数を重ねるごとに好評を博している。長期間にわたる遠大な計画のため、演奏会に参加する若手の演奏家も募っている。

モーツァルト交響曲
全曲演奏会のあゆみ

第1回 2008. 3/2

深志教育会館

- ・1番 変ホ長調 K.16
- ・16番 八長調 K.128

第2回 2008. 8/10

才能教育会館ホール

- ・4番 二長調 K.19
- ・17番 ト長調 K.129
- ・20番 二長調 K.133

第3回 2009. 2/8

深志教育会館

- ・ヘ長調 K.(19a)
- ・5番 変ロ長調 K.22
- ・18番 ヘ長調 K.130

第4回 2009. 5/10

ザ・ハーモニーホール(小)

- ・12番 ト長調 K.(75b)
- ・26番 変ホ長調 K.(161a)
- ・38番 二長調 K.504「プラハ」

第5回 2009. 8/9

才能教育会館ホール

- ・二長調 K.(73 1)
- ・29番 イ長調 K.(186a)
- ・37番 ト長調 K.444
- ミヒャエル・ハイドンの交響曲 P.16への序奏

第6回 2010. 5/16

ザ・ハーモニーホール(小)

- ・6番 ヘ長調 K.43
- ・変ロ長調 K.(45b)
- ・21番 イ長調 K.134

第7回 2010. 10/3

ザ・ハーモニーホール(小)

- ・11番 二長調 K.(73q)
- ・15番 ト長調 K.124

第8回 2011. 5/8

穂高交流学習センター「みらい」

- ・10番 ト長調 K.74
- ・19番 変ホ長調 K.132

第9回 2011. 10/10

ザ・ハーモニーホール(小)

- ・23番 二長調 K.(162b)
- ・33番 変ロ長調 K.319

第10回 2012. 5/13

穂高交流学習センター「みらい」

- ・25番 ト短調 K.(173dB)
- ・32番 ト長調 K.318

第11回 2012. 10/8

ザ・ハーモニーホール(小)

- ・14番 イ長調 K.114
- ・36番 八長調 K.425「リンツ」

第12回 2013. 5/12

豊科交流学習センター「きぼう」

- ・ヘ長調 K.75
- ・27番 ト長調 K.(161b)

第13回 2013. 10/14

ザ・ハーモニーホール(小)

- ・ヘ長調 K.(42a)
- ・35番 二長調 K.385「ハフナー」

第14回 2014. 5/6

ザ・ハーモニーホール(小)

- ・二長調 K.(73n)
- ・二長調 K.(111a)